



災害の記録

- ☆1755年 宝暦5年
窓山山津波 土石流八幡川をふさぎ中郷～下城の流路が一変
- ☆1771年 明和8年
下河内野地谷大洪水 死者1名
- ☆1824年 文政7年
下河内殿畑 田流失不作で不変の村高を例外的に免租
- ☆1829年 文政12年5月24日
荒谷大地震 山抜け
- ☆1928年 昭和3年6月24日
中郷・下河内大洪水 死者1名 家屋流失2戸
- ☆1945年 昭和20年9月20日
野登呂大洪水 死者4名 行方不明1名 家屋倒壊3戸
田畑流失埋地5町(500アール)
- ☆1951年 昭和26年10月14日
ルース台風襲来 八幡川氾濫 死者3名 家屋流失30戸
橋梁流失20件 田畑流失11町8反(1180アール)
- ☆1999年 平成11年6月29日
記録的豪雨 死者10名 負傷者11名 住宅全壊39棟
半壊22棟 家屋浸水67棟 道路橋梁被害41件
田畑被害854アール 山・崖崩れ91箇所

第18回忘れまい6.29集会

日時 平成28年6月26日(日)午後1時30分
会場 河内公民館
主催 河内地区自主防災会連合会
河内公民館

式次第

第1部 追悼式
開式の辞
黙祷
主催者式辞
来賓挨拶
来賓紹介
献花
閉式の辞

第2部 防災講演

演題 土砂災害から命を守るための方策について
—モニタリングネットワーク研究室の取り組み—
講師 広島市立大学 西 正博 教授

講話 平成26年8.20広島豪雨災害について
講師 河内公民館 湯出原 宏 館長

ご挨拶

第18回、忘れまい6・29追悼集会在、ご多用の中、多数のご参列をいただき開催されますこと厚くお礼申し上げます。

さて、17年前の6月29日の豪雨災害で、亡くなられたお方を偲び、献花させていただき、改めて大災害を心に刻み込みたいと存じます。

河内地区は、260年前より大災害に幾度も見舞われましたが、住民の強い結束と助け合い、支え合いの精神で困難を乗り越え、先人の英知と努力で今日があり、決して忘れてはならないと存じます。

一昨年8月20日、安佐南区・安佐北区の土石流大災害で、70余名の尊いお命が奪い去られましたことと、6・29災害で10名の方が犠牲になられましたことを重ね合わせ、改めて深く哀悼の意を捧げるとともに、自然災害は人の力では止めることは困難ですが、過去の災害を教訓に、被害を軽減することは可能であります。

そこで、昨年は、いつ発生するかわからない、災害に備えて、土砂災害の避難行動計画タイムラインを導入し、また、区役所・消防署・地域が協議を重ねて、町内会別の新防災マップを作成したり防災意識を高める取り組みとして、町民運動会で担架リレーを行い、命を守るために速やかな行動がとれるよう、新たな取り組みをしました。

今日、12時に避難勧告が発令されたとの想定で、サイレン・防災メール・連絡網で住民に知らせ、防災マップとタイムラインに基づき、避難経路や危険場所を確認しながら避難訓練を行いました。

防災情報と町内会役員に配布しました簡易雨量計や荒谷に設置されている土砂災害監視カメラなどにより、危険な情報を早期に知らせる・知ることにより、安全な場所へ直ちに避難行動をとることが大切です。

終わりに、過去の大災害を教訓として、いつ起るかも分からない災害に備えて、地域の地形を知り、避難行動計画タイムラインの定着に取り組み、「安心して住めるまちづくり」を推進することをお伝えし、ご挨拶とさせていただきます。

平成28年6月26日

河内地区自主防災会連合会 会長 杉田精司

携帯メールで緊急情報の受信

安全で安心して心豊かに暮らしていただくことを願い、緊急情報や行事情報などを携帯メールで発信しています。受信登録をお進め致します。
発信する情報(例)

(1) 緊急時の情報発信

- ① 特別警報 (数10年に一度の集中豪雨や強度の台風の情報)
- ② 避難勧告 (避難勧告の避難基準雨量 160 mmの情報)
- ③ 自主避難 (自主避難の目安 警戒基準雨量 140 mmの情報)
- ④ 重大な事件や行方不明などの発生情報

(2) 地域情報の発信

- | | |
|--------|----------|
| ① 防災情報 | ⑤ 地域行事情報 |
| ② 防火情報 | ⑥ 環境美化情報 |
| ③ 防犯情報 | ⑦ 訃報情報 |
| ④ 福祉情報 | |



メール受信の登録方法

携帯電話のバーコードリーダーで、QRコードを読み込ませ空メールを送り仮登録後、本登録のメールが来るので必要情報を選択し本登録を行う。

土砂災害監視カメラで昼夜、土石流の観察

荒谷の治山ダムに広島市立大学が赤外線カメラを設置。水量や濁流をパソコン・スマートホン・タブレットで監視し、早期の避難に役立ちます。

① <http://www.wave.info.hiroshima-cu.ac.jp/obs/kouchi/>

② QRコード

